

Title	農商務省編纂 保険年鑑
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1913
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.7, No.2 (1913. 4) ,p.407(189)- 408(192)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	批評と紹介
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19130422-0192

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

武田英三著 税關行政綱要

大正元年十一月東京實業文館發行
大判三百六十五頁 定價一圓三十錢

本書は神戸高等商業學校教授にして税關行政專家なる武田英三氏の近業なるが、全篇を分ちて十三章と爲し、先づ税關の名稱の起原に筆を起し。次に税關行政法規の變遷を論じて現行法規の梗概を擧げ、轉じて開港の意義及び其所在地を記述し、進んで税關、關稅、船舶、貨物、運送、貨物の收容及解除、異議及訴願、關稅警察、税關貨物取扱人等に論及せり。每章擧ぐる所は主として法規の梗概にして、消費稅拂戻の統計を除くの外は殆んど悉く法令の摘要とも見るべきものなり。而かも本書の目的と爲す所は無數の法規の要點を綜合して一少時間内に税關に關する規定の一般を知らしむるに在れば、本書は良く其目的を達したるものと見るべし。通

商貿易に従事せる者又は商業政策の實際方面に關する研究に興味を有する者には本書は有數の參考書と謂ふべし。

野村商店株式年鑑 調査部編纂

大正二年一月大阪野村商店發行
大判六百五十三頁 補遺三十六頁 實價二圓

本書は大阪市東區備後町貳丁目二十一番地野村商店(株式仲買商)の編纂に係るものにして頗る重寶なる有價證券價格の統計を載す。全篇を分ちて公市社債、銀行、紡績、電氣、瓦斯、保險、電軌鐵道、船舶運輸、取引所、製糖、肥料、窯業、諸工業、水産、倉庫、鑛油、鑛山、土地信託、諸株、諸統計の十九款と爲し、第一款公市社債の部にては國債一覽表、公債相場表、全國市債一覽表、市債相場表、債券社債一覽表及其相場表を掲げ、第二款以下に於ては全國の各銀行會社を各款相當の題目の下に分類して各其現狀を

摘要し、最尾の「諸統計」の下には國庫歲出入累年對照表、貿易の統計、金利表、通貨の統計、手形交換高、株式取引所出來高受理高表、紡績會社に關する諸統計、定期米公定相場表等その他の統計書類より轉載せり。

各銀行會社の現狀としては、設立の年月日、資本金額、株數、拂込額、重役の氏名、最近に於ける累年配當率、累年株式相場高低表、決算期、株式名義書替料、貸借對照表、最近の利益配當表、營業成績等總て株主又は株主たらんと欲する者の知らざるべからざる重なる事項を載せたり。活字は六號を用ゐたるも、各銀行會社に一頁宛を割きたるを以て體裁悪しからず、且つ通覽に便なり。唯惜むらくは、各會社の株式相場を擧ぐるに當りて其年數の少きと摘記せる相場の期日を加へざることなり。相場表に月日を加へざれば、其相場と決算との關係を知るに由なし。又社債は單に貸借表の負債の部に擧

げるのみなるも、別に一項を設くれば、猶一層の便宜を與へん。社債は一括して第一款公市社債の部に載すと雖も各會社の現狀と之を對照するに當り一々前款に立戻るは煩はし。

本書は又卷頭に大阪株式取引所株の昨年中に於ける相場表を鮮明なる石版摺にせるものを挿みたり。要するに多少の缺點を有せるも、本書は投機商、素人相場師及び金融事情又は物價の研究者に取て一好參考書たるを失す。

農商務 保險年鑑(四十四年度) 編纂

大正二年一月生命保險會社
協會發行 紙數二百三十一

本書は明治四十四年四月より同四十五年三月に至る一年間に於ける我國の内外保險會社に關する諸統計を載す。保險の種類は生命、徵兵、疾病傷害、火災、海上、運送、信用、汽罐、年金等にして本邦に於ける總ての保險事業を網羅

し、内國會社と外國會社支店との區別を設け、各種保險會社の現狀及び營業成績の統計を掲ぐ。又卷頭には生命、火災、海上、運送、信用、汽罐、保險事業の最近五ヶ年間に於ける比較圖と保險會社財産分布圖とを挿む。全篇題目に英譯を施し、總てアラビック數字を用ゆ。英譯は概して無難なり。

本書に載する統計は皆各保險會社より徴したる報告に據ると云ふ。

宇都宮財 政 學 第一卷及 第二卷

大正二年二月東京有斐閣
第一卷七百十六頁 定價二圓二十錢
第二卷七百五十九頁 定價二圓二十錢

本書は我經濟學界にて罕れに見る浩翰なる著書にして、全部は四卷より成り、其中今回發刊せられたるは第一卷及び第二卷なるが、第三卷は本年秋期に上梓せらるべく、第四卷の發行期日は未定なりと。第一卷は總論及び本論の一部

第一編國家歲出論并に第二編國家歲入論中第一部官業收入論及び第二部租稅論の第一款租稅論を載す。第二卷は國家歲入論の殘餘、即ち租稅各論を收む。本年秋期發行せる、筈なる第三卷は公債論と豫算論とを載する豫定にして、他日出版せらるべき地方財政論を收むべしと云ふ。

本書は第一卷及び第二卷に於て紙を費すこと千四百六十餘頁なる大著なれども、著者自身も告白せらるゝ如く、何等財政學上斬新なる學説を公表せず、又統計資料等の豊富なるにも拘らず、斯學上有力なる研究と認むべきものなく、唯本書は普通の財政學教科書の順序を以て、在來の學説を解説したるに過ぎざるもの、如し。

又本書に於て解説せる學理及び學説は主として獨逸の學者の唱へたるものにして、時としては著者は獨逸の學者を尊敬するの餘勢として、其學説の内容を問はずして、之を尊重引用せらるゝの傾向あるは惜むべし。

本書は理論財政學書としては斯學に多くの貢獻を爲すものに非ずと雖も、其の載する所の財政史上の事實及び統計は大に參考に資すべきものあり。著者が歲入歲出の各項目に亘りて世界強國に於ける財政立法史、財政史上の事實及び豊富なる統計を聚集し、各強國の財政狀態を對照して、各國財政の發展と現狀とを通覽するの便を與へられたるは吾人の大に多とせざるべからざる所なると同時に資料收集上に於ける著者の努力と手腕とに敬服せざるを得ず。本書の如く、財政學の實際方面に關して豊富なる研究材料を提供せる財政學書は稀れに見る所なりと謂つべし。本書の長所は實に此點に存すと云ふべく、從つて本書は財政學の研究者、殊に實際的方面の研究者に取りて一好參考書たるを失はず。

如何なる著書と雖も、讀者に對して著者の癖が多少不快の念を與ふるの傾向を有するものな

きことは止を得ざるの事なるが、本書は一層其傾向著しきものありて存するを虞る。著者は獨逸を畏敬せらるゝの傾きありて、獨逸以外に論ずるに足る國家なしと思惟せらるゝが如き印象を讀者に與ふることあり。又著者は政府萬能主義及び陸軍萬能主義を奉せらるゝもの、如くにして、盛んに民主國を痛罵せり。

此著者の癖は著書の内容にも影響を及ぼし、國防に關して費す紙數は六十頁を算するに拘らず、内政に關しては紙を割くこと僅かに十六頁なり。著者は國防を以て内政よりも遙かに重要なものと思惟せらるゝが如し。現在及將來の國民の經濟的能力に大影響を及ぼすべき衛生に關しては僅かに一頁に満たざる六行の記述を試みたるに過ぎず。今日世界の大問題と爲りつゝある勞働者の保護に就ても筆を走らすこと僅々六行。將來に於ける國家、國民の運命を左右すべき大問題なる教育に就ても、紙を分つこと三